

2026 年度アートマネジメント人材等海外派遣プログラム 第 2 回 派遣対象者決定 光州ビエンナーレ、ソウル

東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京は、将来アーティストと社会をつなぐ役割を担う若手アートマネジメント人材を海外のフェスティバル等に短期間派遣する「アートマネジメント人材等海外派遣プログラム」事業を実施しています。

今年度第 2 回の公募では、アジアを代表する国際現代美術展のひとつ光州ビエンナーレへの派遣対象者の募集を行い、審査の結果以下のとおり決定しました。

派遣先【光州ビエンナーレ、ソウル】

視覚芸術に関わる若手を中心とするキュレーター、ディレクター、アートプロフェッショナル等
応募者 29 名、派遣対象者 3 名

氏名（フリガナ）	芸術分野	主な職能
明石 薫 （アカシ カオル）	ビジュアルアーツ	プロジェクトマネージャー、イベントディレクター
池田 佳穂 （イケダ カホ）	ビジュアルアーツ	インディペンデント・キュレーター
金 秋雨 （キン シュウウ）	ビジュアルアーツ	キュレーター

（※五十音順、敬称略）

2026 年度アートマネジメント人材等海外派遣プログラム

「東京文化戦略 2030」で東京都は、東京が国内外のアートシーンの中心として世界を魅了する創造性を生み出し、東京に集積する芸術文化資源を最大限活用し、国際的なアートハブとしての機能の強化を目指しています。そのため、本事業では将来アーティストと社会をつなぐ役割を担う若手アートマネジメント人材を短期で芸術フェスティバル等に派遣し、国際的な活動の第一歩となるよう、海外の芸術文化関係者のネットワークを作る機会を提供します。また、海外の先駆的な作品や創作現場に直にふれることで、国際的な視点に立った創作の機運醸成を図ります。なお、将来的にはこの事業を通じて東京と各派遣先との連携を深め、東京と海外セクターとのネットワーク構築・強化に繋がります。

その他事業に関する詳細はアーツカウンシル東京ウェブサイトをご参照ください。

https://www.artscouncil-tokyo.jp/support_top/art-management/

アーツカウンシル東京

世界的な芸術文化都市東京として、芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高める多様な事業を展開しています。新たな芸術文化創造の基盤整備をはじめ、東京の独自性・多様性を追求したプログラムの展開、多様な芸術文化活動を支える人材の育成や国際的な芸術文化交流の推進等に取り組めます。

<本事業に関するお問い合わせ>

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
活動支援部助成課 支援デザイン係：角南 佐藤
TEL：03-6256-8433 E-mail：haken@artscouncil-tokyo.jp

<本リリースに関するお問い合わせ>

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
企画部広報課 広報担当：関次 柳生
TEL：03-6256-8432 E-mail：press@artscouncil-tokyo.jp